

地域が主体の防災まちづくり 茅ヶ崎地区「防災“も”まちづくりシンポジウム」を開催

市は「地域が主体となった防災都市づくりの推進」を目的に、2009年度から「防災“も”まちづくりワークショップ」を実施し、2022年度は茅ヶ崎地区で「防災“も”まちづくりワークショップ」を行いました。今まで開催したワークショップの成果や、ワークショップを契機に始まった地域の活動など、今後の防災まちづくりについて話し合う「防災“も”まちづくりシンポジウム」を開催します。同シンポジウムを通し、地域の防災力を高めることを目指します。

<シンポジウムの概要>

- (1) 日 時 1月14日(日) 13時30分～16時30分
- (2) 場 所 市役所分庁舎6階コミュニティホール大集会室
- (3) 主催・協力 主催：茅ヶ崎地区まちぢから協議会 協力：茅ヶ崎市
- (4) コーディネーター 加藤孝明(かとう たかあき)氏(東京大学生産技術研究所教授)
- (5) 内 容 **第1部** 加藤氏による基調講演(テーマ「みんなで取り組む防災“も”まちづくり」)
茅ヶ崎地区防災“も”まちづくりワークショップ開催報告
※ワークショップ当日の様子のDVD上映
茅ヶ崎地区防災“も”まちづくり令和5年度活動報告
第2部 防災“も”まちづくり円卓会議
(テーマ「ワク²×助け合い→茅ヶ崎地区まちづくり」)

●「防災“も”まちづくり」とは...

災害時の被害を最小限に抑えるには、様々な人たちが互いに連携し、自助・共助による地域全体の災害対応力を高めることが大切です。そのためには、防災“だけ”で取り組みを進めるのではなく、自治会や各団体が日常的に実施している活動(お祭り等のイベント、清掃活動、自治会費の集金等)を通じて顔見知りをつくる、住民同士のつながりを深めることで、結果として地域の防災力を高めることが大切で、このような活動を「防災“も”まちづくり」と位置づけています。

●「茅ヶ崎地区防災“も”まちづくりワークショップ」...

茅ヶ崎地区内に居住している住民約50名が参加し、東京大学加藤孝明教授のアドバイスを受けながら計3回のワークショップを開催しました。ワークショップでは、参加者が6グループに分かれて、日ごろのまちづくり活動の中にある防災上の効果や、さらに防災力を向上させるための工夫について話し合うとともに、実際にまちなかを歩き、この地区の良いところや災害時に活用できそうな場所、残していきたい地域資源などを確認しました。さらに、今後、地域で進める活動や活動場所について記した「防災“も”まちづくりマップ」を完成させました。



加藤教授による講演



まちあるきの様子



グループワークの様子